

復 命 書

令和7年 2月 5日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	松元 健作
研修会名等	広報委員会研修会
期 間	令和7年1月27日（火）
内 容	「読まれない議会だよりに出す意味無し」聴く・動く寄居町議会の挑戦 埼玉県寄居町議会 議会広報公聴特別委員会委員長 鈴木詠子氏
所 感	今回動画配信での視聴研修ではあったがとてもわかり易く、参考になることが凝縮されており大変勉強になった。一番感銘を受けたのは、町民ファーストの広報誌であることであった。最初は表紙から議員の写真を使用したり、内容も議員目線での内容が多かったが、次第に町民参加型の表紙、内容へと変化していった。中でも、議員が色々な町民の方々に町の情勢や様々な声を毎号取材をしに出向き記事にしている。平均毎号30人前後（毎回新しい方）の町民が登場。また、QRコードを上手く使い、動画配信まで行っている。まさに議員活動の見える化であり、見たいと思う広報誌がそこにあると感じた。 広報誌を作成する際、我々は委員会メンバーのみで構成等行い、印刷会社へ依頼をかけるが、寄居町はその委託業者も委員会へ参加していただき委員の構成する思いも一緒に感じてもらうようにしていた。まさに広報誌に関わる方一体となって作り上げている。広報誌への思いなど、まず肝心な意識付けが我々はしっかりできていないと痛感した。そしていかに町民目線ではなく議員目線での広報誌になっていたか実感し考えさせられた。 我々は今議員改革、議員活動の見える化に取り組んでいるが、議会広報誌はその中でとても重要な位置づけであると思う。町民への取材は毎回我々の行っている意見交換会の究極であり町民の声を町政に届ける議員活動そのものであるため、今後の広報誌に取り入れるべきと思う。また、自分には写真という事しか考えがなかったが、QRコードという便利なツールを上手く活用することで、動画の配信もできる事に気付かされたことはとても大きかった。これも今後取り入れていくべきと思う。少しずつではあるが広報誌自体も改革をして今までとは違う、「変わった」「読みやすくなった」「読みたい広報誌になった」と言われるよう、我々目線ではなく町民ファーストの考えで作成していこうと思う。
添付資料	

復 命 書

令和⁶年 / 月 / 日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	榎 吉 智 彦
研修会名等	令和6年度町村議会広報研修会
期 間	令和6年 / 月 / 日(月) ~ 令和 年 月 日()
内 容	「読まれない議会だよりに出る意味なし」 ~お元気ですか寄居議会です 編集方針~ 講師 寄居町議会(人口32,000(弱))(DVD鑑賞) 広報広聴特別委員会 委員長 鈴木 詠子 ・一般質問の掲載には、その質問に対する町民の声と一緒に載せている。 但し、載せていいのかな?と確認してから掲載する。 ・議員自らが7つの行政区にそれぞれ出向いて取材をする。
所 感	・だらだらと長く文を書いても読まれない。 ・寄居町の原稿は180字以内となっている。 ・議員の研修会見聞の集合写真等は一切載せない。 ・内容がわかりやすい写真を掲載。 ・紹介見出し、語句の説明。 ・町民が知りたい情報と厚み画等で紹介(QRコード) ・主役は議員から町民へ大きく変化 T.T.P 「徹底的にパковать!!」 編集 ・ラフレイアウト (10,000部 445万円) 「議員が変わればT.T.P.も変わる」 議会と町民共に意識改革を!!
添付資料	

復 命 書

令和 7 年 1 月 27 日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	前原 和幸
研修会名等	広報委員会議会広報紙作成に関する研修(動画視聴)
期 間	令和 7 年 1 月 27 日(月)
内 容	演題:「読まれない議会だよりに出す意味なし！」 講師:埼玉県寄居町議会広報広聴特別委員会委員長 鈴木 詠子 氏 1.まず、編集方針を決める (1)基本姿勢 (2)町民参加 (3)政策サイクル (4)優先順位 (5)言葉で伝える (6)写真で伝える 2.日本一を受賞してからの議員の意識が変わった 議員全員が議会だよりに対する意識が変わった 3.編集の際、心がけること 議会と議会事務局、委託業者のそれぞれの役割分担を明確にし、編集を行うことが重要 4.「議会だより」「議員」が変われば「町」が変わる 議会と町民共に意識改革を
所 感	1.高い意識の中で議会だよりを作成されていた。 2.議会の見える化を図り、改革のツールとして議会だよりを作成し、広報機能の強化に努めねばならない。 3.決まったこと、終わったことの報告ではなく。町民が知りたいことを伝えるのが、議会だよりの本当の役目である。 4.議員自ら取材を行い議会だよりを作られていたが、それが本来の議員の姿であり、取材力＝広聴力＝議員力で示されるように、様々な住民と出会う機会を作るべきである。 5.政策サイクルは、自らの任期の4年間で回し、提言を行うことが重要である。 6.町の広報誌に記載されていることは、QRコードなどを活用しリンクさせることで、限られた紙面の活用が可能になる。動画なども活用するとより住民にわかりやすい紙面づくりにつながる。 7.決して自己満足にならずに、町の活性化のために努力すべし。
添付資料	

復 命 書

令和7年 / 月27日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	宮後 竜一
研修会名等	議会広報委員会研修 (室内)
期 間	令和7年 / 月27日() ~ 令和 年 月 日()
内 容	埼玉県寄居町議会広報広聴係長 鈴木 節子氏の「読まれる議会だより」に出る意味を話し
所 感	町民が読みたい広報誌、それは手に入らない広報誌をつくらなければならないと感じた。私たちの委員会も電厚のページ割りしかおもしろくないのでは？自分たちが広報誌を作成するのは、楽にかなって町民にも伝わる。新しい取り組みをチャレンジしてみたいと思えた。
添付資料	

復 命 書

令和7年 1 月27日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	吉 原 光
研修会名等	議会広報委員会研修
期 間	令和7年1月27日(月)～令和 年 月 日()
内 容	「読まれたい議会だよりに出す意味なし！」 - 基本姿勢：日本一クオリティの高い議会だよりを目指し編集する。 - 町民参加：多くの町民登場、予算・決算・重要案件には、必ず議会と町民の視点を。 - 政策サイクル：年間の議会の流れと政策サイクルを意識した編集をわかりやすく。 - 優先順位：審議結果だけでなく経過を伝え、町民の関心が高い議案を掲載。 - 言葉で伝える：常に読み手を第一に考える。読みやす、紙面、議案内容、審議結果がわかるように工夫し、各議員の賛否も明らかにする。 - 写真で伝える：見出しは記事の内容がわかりやすく、簡潔でインパクトのある表現。QRコードを活用し、必要に応じて資料映像を作成し、記事を補完。
所 感	一番大事なことは 町民の読み手を意識すること。 毎年同じ予算の内グラフは必要なし、QRコードで所広報部分を見れるようにする。一般質問にもQRコードを活用して資料映像を見られるようにすることは良いと思った。 町民を多く出すこと、町民に取材を行うこともあるべきではないかと思う。町民の声が大事。議会だよりは住民自治の「窓口」
添付資料	

復 命 書

令和7年 7月27日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	菅 永 洋 一
研修会名等	読者の声、言葉の会 広報研(研究会) 鈴木誠三(常務幹事)
期 間	令和 7 年 / 月 〇 7 日 () ~ 令和 年 月 日 ()
内 容	(読者の声、言葉の会より 出た意味で) 編集方針 - 基本多読 - 市民参加 ... 予算、決算、重要事件は研究会と市民の視点を掲載 - 政策形成 - 優先順位 ... 市民の関心度の高い順位 (主役は市民) - 言葉の伝わり ... 記事は簡潔に - 写真の伝わり ... 見出しは大きく 写真は一記事一枚
所 感	(読者の声、広報) ... 編集に当たって記事は、かに大きくわかりやすく編集するかの議論が必要 (一般質問) ... 読者各位が、適切な事項、回答事項を、かに大きくとめるか、課長、部長、編集長において修正可能な場合、記者の理解が必要。大きく取り上げるには、一問一答方式の中で、迅速な対応能力をつけることが必要と考え (編集のあり方) ... 見出しのあり方、写真の配置、空間等、注意すべき (その他) ... 市民の生の声とどう反映するか、記事について、は全体的に、短文化し、紙面全体の空間のあり方、写真の配置等、必要
添付資料	

復 命 書

令和7年1月27日

議長	局長	次長	係長
			

肝付町議会議長 様

以下のとおり報告いたします。

氏 名	柳 一夫
研修会名等	広報年研修
期 間	令和7年1月27日()～令和 年 月 日()
内 容	読まねの議会だよりに出す意見 なし 議会報、作りに 町民参加を促す 記事は 簡潔な表現とする、町民の関心が高いと思われ 議案案 掲載する
所 感	便りを作成する上、どうしたら良いか 迷ったが、文面作り等、より指導を受けると 思われ、我が町便り作成も良いと思っ たが、さらに良くなるおな気がした。
添付資料	